



# 埋文だより

第41号

平成18年6月16日発行



今年度調査中の住居群

## 墓地に続き 集落を発見!

堂園遺跡(川辺町)は、集落(住居群)と墓域(土坑墓群)の位置関係を知る上で重要な遺跡と考えられています。今年度は集落の調査を行い、7月に現地説明会を開催します。ぜひ、ご参加ください。(詳細は4頁をご覧ください。)



土坑墓内から見つかった鉄鏃  
鉄鏃は、鉄で作られた矢じりのことで、副葬品として出土することが多い。

### 目次

- ・墓地に続き集落を発見! ..... 1
- ・新しい分析装置に大きな期待!! ..... 2, 3
- ・平成18年度 発掘調査・報告書作成遺跡マップ..... 4
- ・シリーズ埋文豆知識①遺跡見学の楽しみ方..... 5
- ・平成17年度 発掘調査・報告書作成の成果を発表!  
第15回企画展 縄文海進と錦江湾の考古学..... 6



昨年度発見された土坑墓

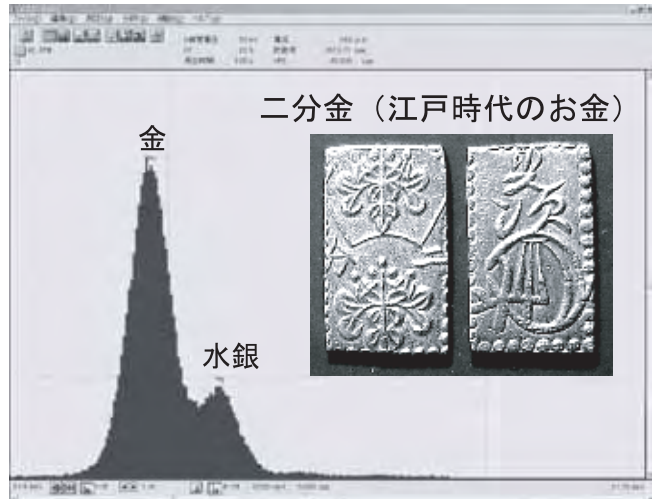
# 新しい分析装置に大きな期待

当センターには、各種の機器が設置されており、貴重な文化財を次の世代に伝えるための遺物の分析や保存処理を南の縄文調査室で行っています。ここでは、平成17年度に新しく導入された蛍光X線分析装置を含む分析機器と保存処理について紹介します。



新しく導入された  
**蛍光X線  
 分析装置**

## 分析の活用例

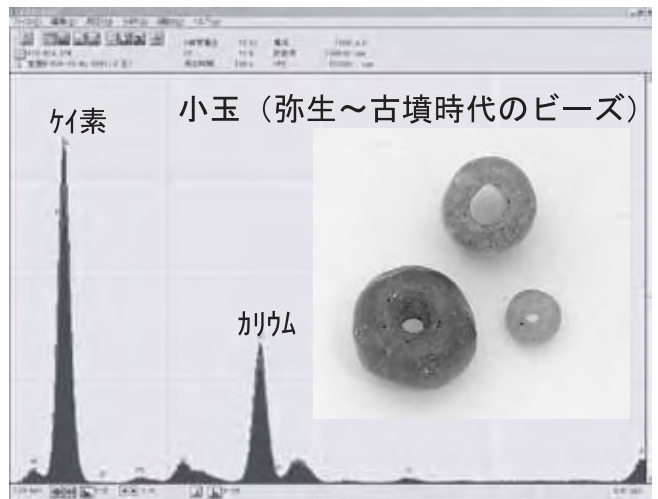
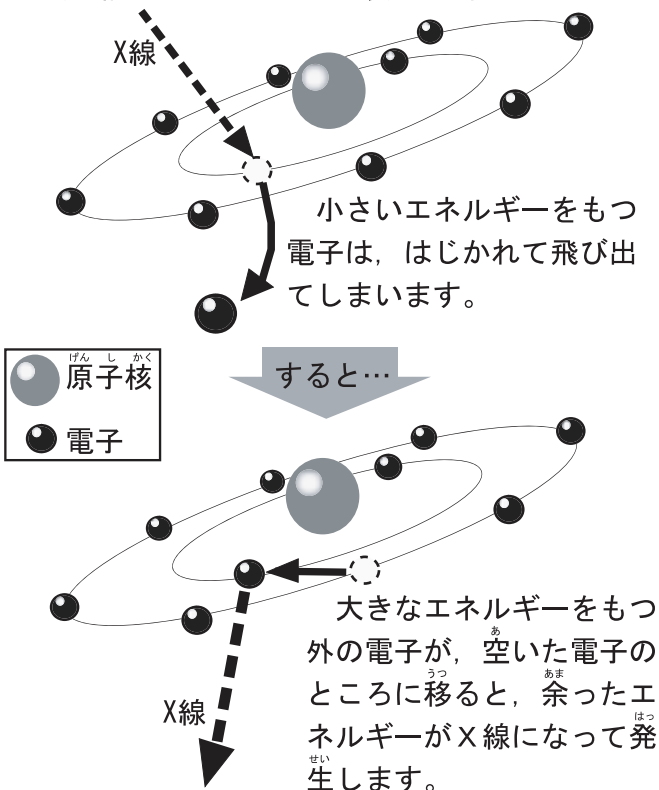


二分金（江戸時代のお金）

この二分金では、表面で金と水銀を検出しました。水銀アマルガム法でメッキを施したと考えられます。

## 蛍光X線分析のしくみ

物質を構成する電子に分析装置のX線が当たると...



ケイ素 小玉（弥生～古墳時代のビーズ）

この小玉では、ガラスの成分（ケイ素）以外にカリウムを検出しました。製作するときの粘性を低くするため、カリウムを混合したのではないかと考えられます。

分析結果から、昔の人がものを作るときに何を材料にしたか知ることができます。また、ものを作るときに技法がわかることもあります。今後、この分析装置をいろいろな調査・研究へ活用していく予定です。

発生するX線のエネルギーの大きさは、物質ごとに決まっているので、測定すれば遺物の材質がわかります。

# ほかにもあるぞ！ 埋文センターの 分析機器



## 小さい遺物の観察には

- ◆名称：走査型電子顕微鏡
- ◆性能：35倍～20万倍まで拡大可能
- ◆用途：土器などの表面に付着した顔料の観察、遺跡の土壌に含まれる微小遺物（植物珪酸体や花粉など）の観察



## 見えない字の判読には

- ◆名称：赤外線用テレビカメラ
- ◆性能：墨で書かれた跡をモニターで見る事が可能
- ◆用途：土器や木材の表面が、かすれたり、変色して肉眼で判読できなくなった文字や絵の観察



## 構造の調査・観察には

- ◆名称：X線非破壊検査装置
- ◆性能：X線を照射し、物質の密度差をフィルム上に陰影で表すことが可能
- ◆用途：木製品や金属製品の内部構造調査と破損状況の確認、錆の状態の確認

# 埋文センターの 保存処理

## ◆ 金属製品の保存処理

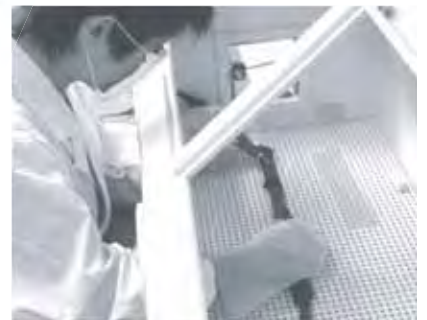
金属製品が新たな錆の発生によってもろくなるのを防ぐために、X線を照射して錆の状態を調査し、ルーターと呼ばれる道具で錆を取り除きます。そして、薬品を使って金属製品に含まれる塩分や水分を取り除きます。さらに、金属製品の表面保護と強化のために、真空樹脂含浸装置で樹脂を金属製品にしみ込ませる保存処理を行っています。

## ◆ 木製品の保存処理

木製品が乾燥によって収縮・変形して壊れてしまうのを防ぐために、含浸タンクや定温乾燥機などを使って、木製品に含まれる水分と薬品を置き換える保存処理を行っています。この処理は、数か月から1年もの期間がかかります。



X線透過撮影した剣



ルーターを使った錆取り作業



含浸タンクに薬品を入れる作業



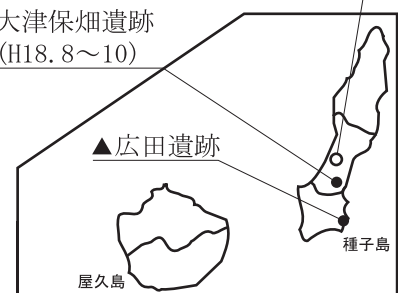
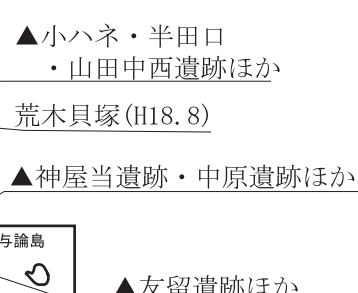
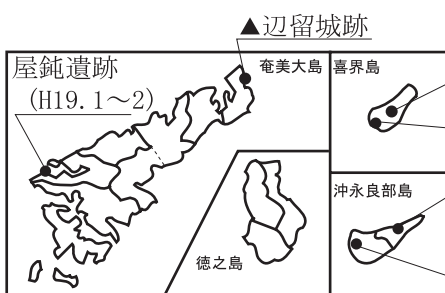
保存処理の終了した木製品

平成18年度

# 発掘調査報告書作成 遺跡マップ

当センターでは今年度、次の遺跡の発掘調査、報告書作成を予定しています。調査の詳しい日程等については直接センターまでお問い合わせください。

- 発掘調査
- 報告書作成
- ▲ 市町村支援
- 市町村境（平成18年3月31日現在）
- 旧市町村境



# 埋文豆知識① 遺跡見学の楽しみ方

～遺跡の現地説明会や発掘調査現場に行ってみよう！～

当センターでは、埋蔵文化財を通して地域の歴史・文化に触れ、郷土に親しんでいただくため、毎年、遺跡の現地説明会を行っています。また、PTAや子ども会、職場の研修など、いろいろな行事で発掘調査現場の見学もできます。

そこで、遺跡見学を楽しむポイントの紹介をしたいと思います。

## ◆ 地層を見ることができます！

約24,000年前のシラスや約6,400年前のアカホヤ火山灰などを手がかりに、各時代の層がわかります。

## ◆ 土器や石器などに触れることができます！

展示コーナーでは、土器や石おの、矢じりなど、昔の人の生活道具に直接、触れることができます。

## ◆ 昔の人が生活していた跡を見ることができます！

住居や蒸し焼き料理をしていたと思われる集石など、先人の知恵を知ることができます。

## ◆ 発掘体験ができます！

遺跡の現地説明会などでは、実際に移植ゴテなどの道具を使って発掘体験ができます。

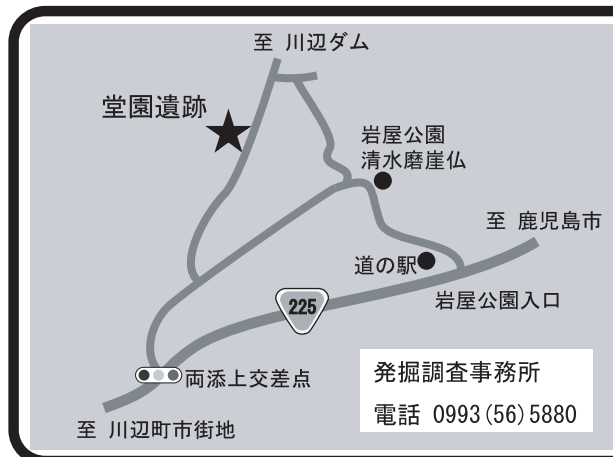


## Let's! チャレンジ

夏休みの自由研究などに遺跡見学を！

遺跡を見学して、感想や疑問に思ったことを夏休みの自由研究などにとりいれてみましょう。

- 《例》「郷土の歴史～〇〇遺跡～」
- 「〇〇地区の地層について」
- 「発掘作業のスケッチ」
- 「発掘体験の感想文」



## 堂園遺跡(川辺町)現地説明会のご案内

表紙で紹介した川辺町の堂園遺跡で、平成18年7月8日(土)に現地説明会を開催します。午前・午後それぞれ1回、職員が遺構・遺物などの解説を行います。

詳細については、発掘調査事務所または当センターへ電話でお問い合わせください。

# 平成17年度 発掘調査・報告書作成の成果を発表！

昨年度に当センターが行った上水流遺跡(南さつま市)、堂園遺跡(川辺町)の発掘調査と、山ノ中遺跡(鹿児島市)の報告書作成の成果報告会を、平成18年3月11日(土)に上野原縄文の森展示館内研修室で行いました。

当日は、各遺跡でいっしょに発掘をした作業員さんを含め、多くの県民の方々に参加していただき、研修室が満席となる盛況ぶりでした。



山ノ中遺跡(鹿児島市)の縄文時代の住居跡



上水流遺跡(南さつま市)で出土した縄文時代前期の土器



多くの方で満席になった報告会場

## 次回開催予定の縄文海進と錦江湾の考古学

Uenohara Jomon no Mori, Kagoshima

上野原縄文の森 第15回企画展

## 縄文海進と錦江湾の考古学

～6,000年前、地球温暖化で海面上昇があった～

上野原縄文の森展示館では、平成18年7月15日(土)から第15回企画展「縄文海進と錦江湾の考古学」の開催を予定しています。

いまから約6000年昔、気候は現在より暖かく、海水面は最高に上昇していました。これが「縄文海進」です。そのような遺跡の分布などから推定し、紹介いたします。ぜひ、ご来館ください。



錦江湾(鹿児島湾)と桜島と上野原遺跡

当センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。お近くにお越しの節はぜひお立ち寄りください。  
なお、センターのホームページは、上野原縄文の森(<http://www.jomon-no-mori.jp>)からお入りください。

埋文だより 第41号  
発行日 平成18年 6月16日  
編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
〒899-4318 鹿児島県霧島市  
国分上野原縄文の森2番1号  
TEL 0995-48-5811・FAX 0995-48-5820  
E-mail:maibun@jomon-no-mori.jp